

# イマジカ・ロボット ホールディングス 個人投資家向け会社説明会

東証二部 証券コード：6879

2013年9月19日（木）／10月8日（火）

**Imagica Robot Holdings Inc.**



# グループ概要



# イマジカ・ロボットグループの沿革

1935年	2月	京都・太秦で(株)極東現像所として創業
1942年	1月	商号を(株)東洋現像所に変更
1986年	1月	商号を(株)IMAGICAに変更
1992年	7月	映像機器開発の(株)フォトロンへ資本参加
1996年	10月	CS放送チャンネルを開局、同年10月より放送事業開始
1997年	9月	(株)フォトロンが株式店頭公開
2006年	3月	映画・CM企画・制作の(株)ロボットと経営統合
2006年	7月	商号を(株)イマジカ・ロボットホールディングスに変更
2009年	2月	短編アニメ「つみきのいえ」が米国アカデミー賞受賞
2009年	5月	人材派遣の(株)デジタルスケープに資本参加
2011年	4月	グループ組織再編によりJASDAQ上場
2012年	3月	映画専門チャンネル「イマジカBS」開局
2012年	12月	東京証券取引所市場第二部上場



# 会社概要

2013年10月1日現在

会社名	株式会社イマジカ・ロボット ホールディングス (東京証券取引所市場第二部 証券コード：6879)		
創業	1935年(昭和10年)2月18日 極東現像所として創業		
本店所在地	〒100-0011 東京都千代田区内幸町1-3-2 内幸町東急ビル11階		
代表者	代表取締役会長 グループCEO 長瀬文男 代表取締役社長 社長執行役員 長瀬朋彦		
事業内容	映像関連事業を営むグループ会社の株式保有ならびに事業の統括		
グループ会社	連結子会社：16社	従業員数 (2013/3末現在)	2,076名
発行済み株式総数	44,531,567株 (うち自己株式数2,059,465株(4.6%)、除く自己株式数42,472,102株)		
主要株主 (2013/3/末現在)	株式会社クレアート		62.6 (%)
	株式会社三井住友銀行		2.8 (%)
	株式会社フジ・メディア・ホールディングス		1.9 (%)

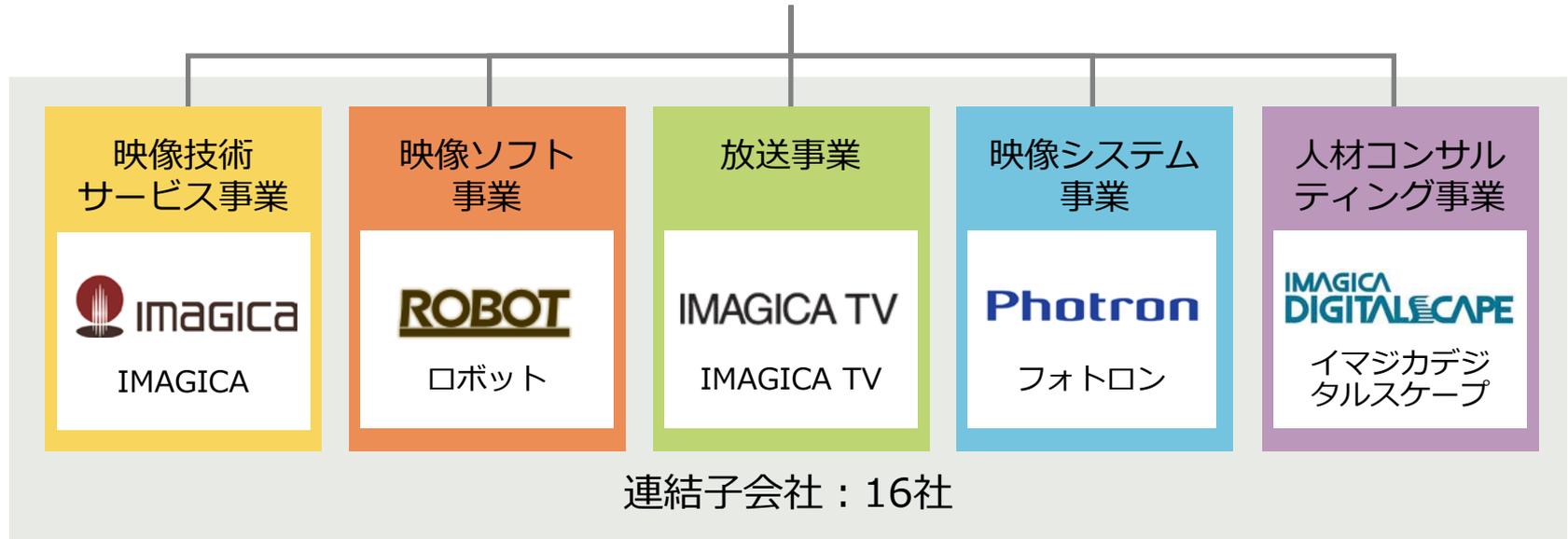
(注) 発行済み株式総数に対する比率



# 事業セグメント

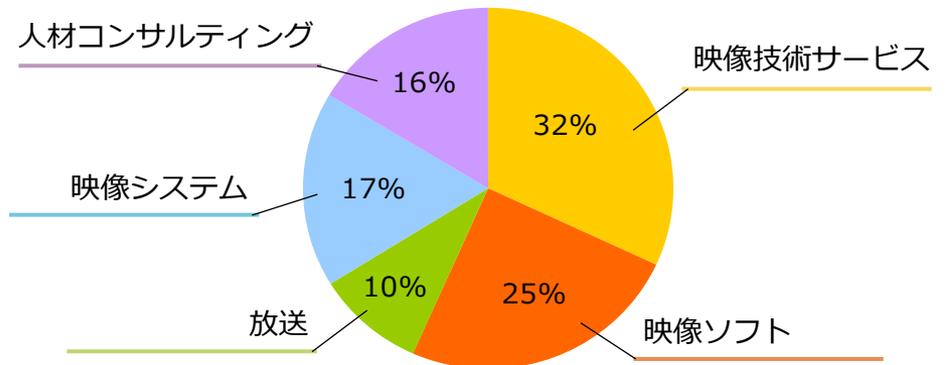
2013年10月1日現在

## Imagica Robot Holdings Inc.



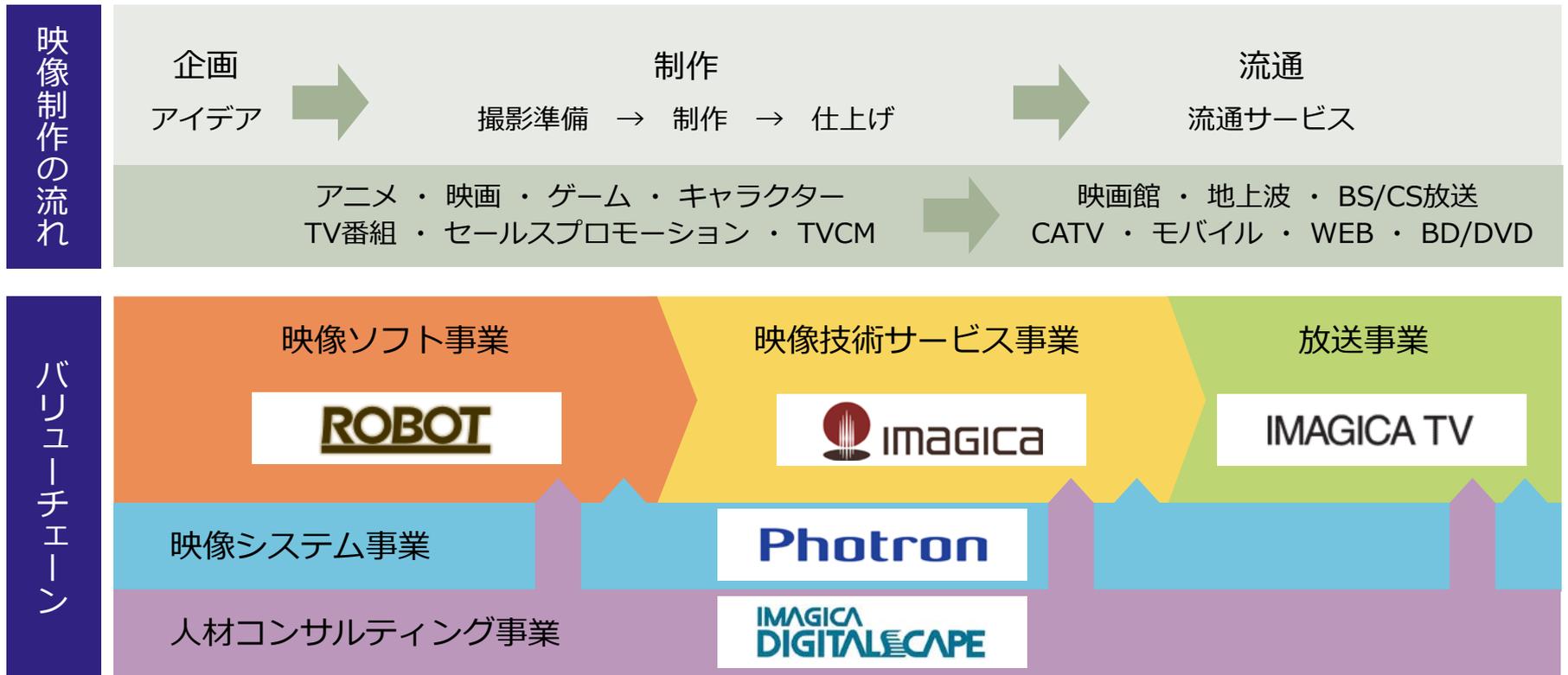
### 【事業セグメント別売上高構成比】

連結売上高 499億円  
(2013年3月期 実績)



# イマジカ・ロボットグループの事業領域

映像制作の入口から出口まで、一貫したバリューチェーンを持つグループ

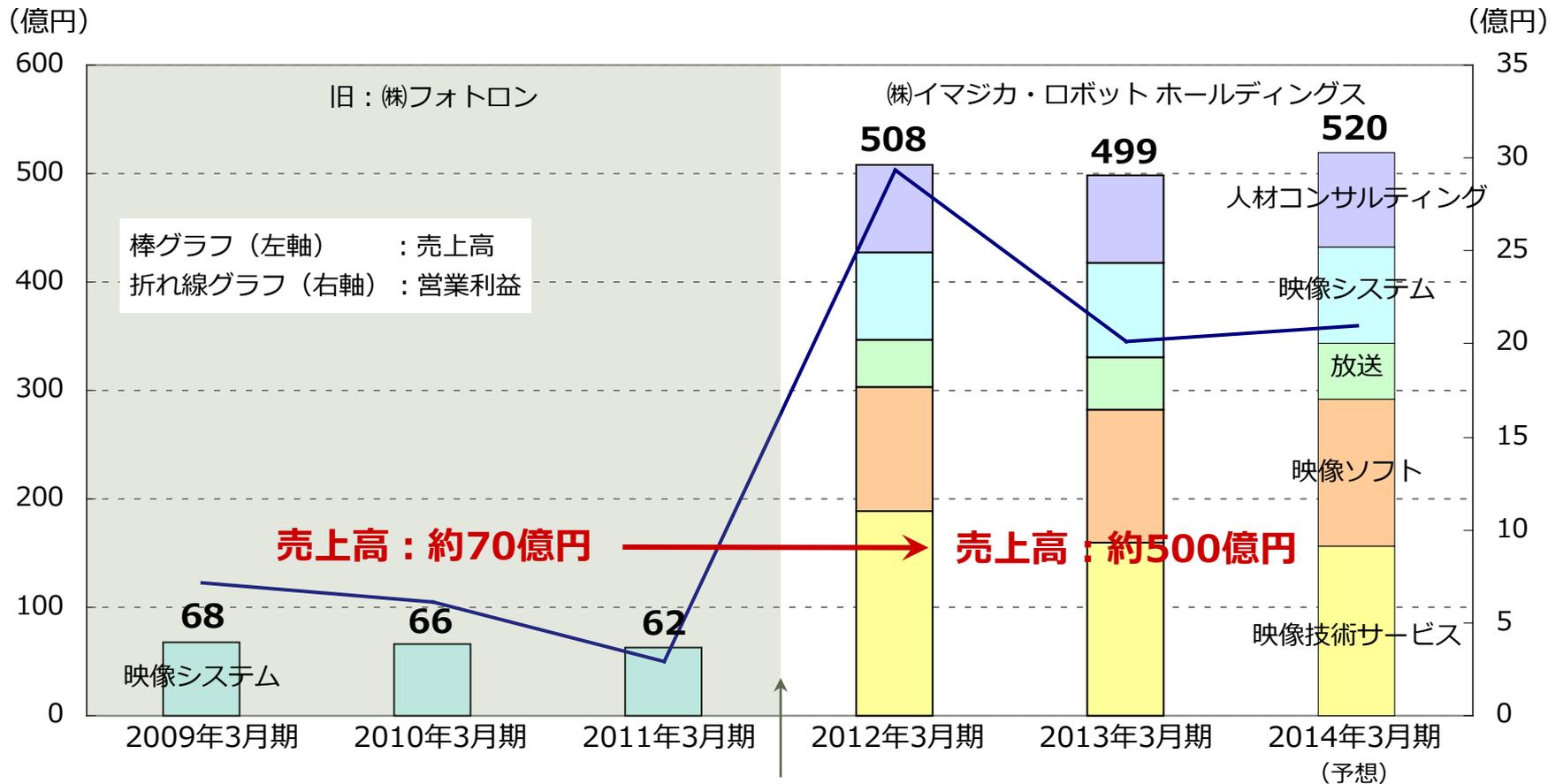


# 業績推移



# 連結業績の推移①

2014年3月期業績予想：売上高 520億円、営業利益 21億円



グループ組織再編によりイマジカ・ロボットホールディングスがJASDAQ上場  
(グループ組織再編については参考資料P.31をご参照ください。)



# 連結業績の推移②

(単位：百万円)

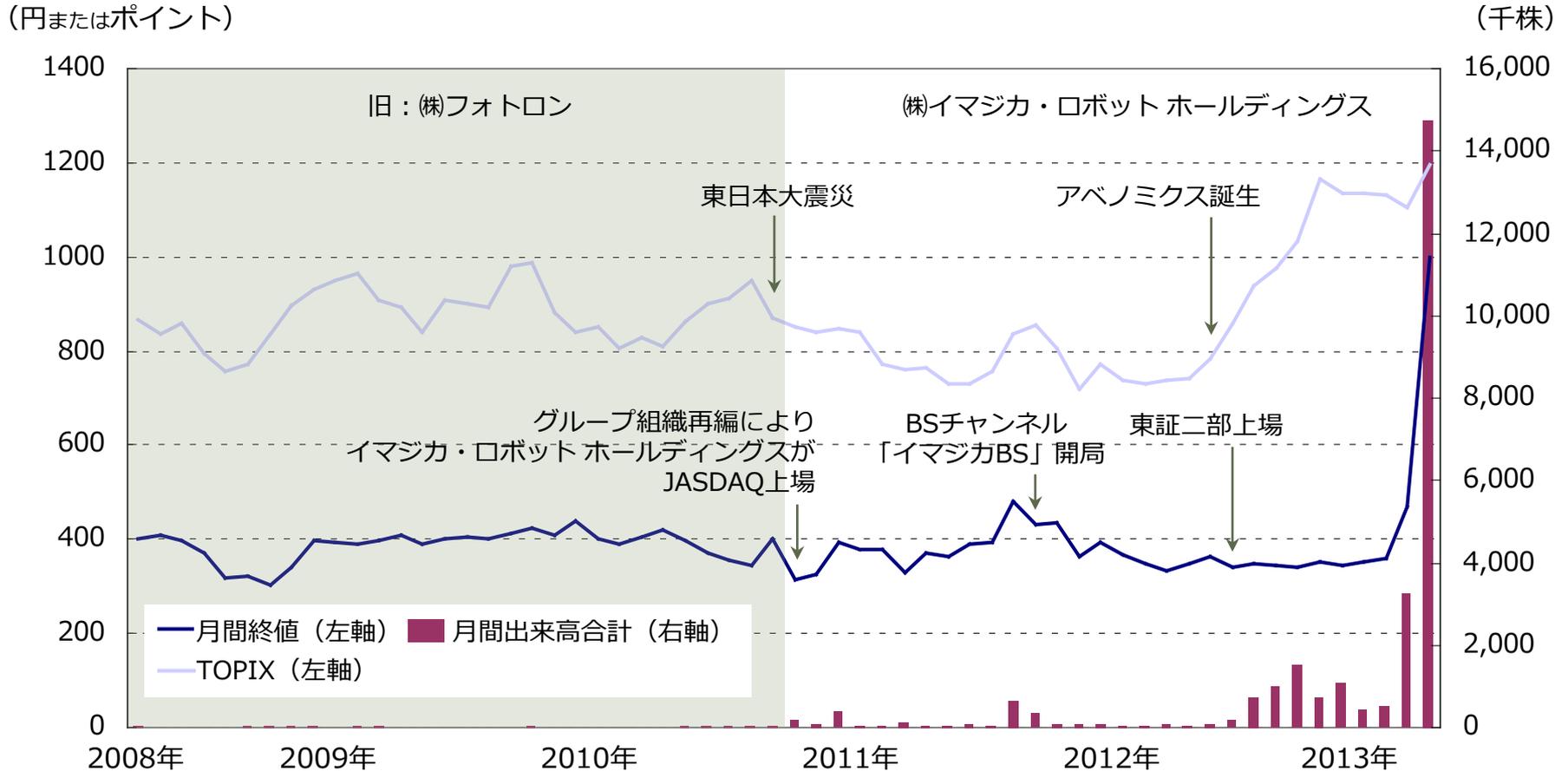
	旧：(株)フォトロン			(株)イマジカ・ロボット ホールディングス		
	2009年3月期 実績	2010年3月期 実績	2011年3月期 実績	2012年3月期 実績	2013年3月期 実績	2014年3月期 予想
<b>売上高</b>	<b>6,851</b>	<b>6,662</b>	<b>6,233</b>	<b>50,865</b>	<b>49,919</b>	<b>52,000</b>
<b>営業利益</b> (営業利益率)	<b>719</b> (10.5%)	<b>608</b> (9.1%)	<b>296</b> (4.7%)	<b>2,935</b> (5.8%)	<b>2,012</b> (4.0%)	<b>2,100</b> (4.0%)
<b>経常利益</b> (経常利益率)	<b>932</b> (13.6%)	<b>615</b> (9.2%)	<b>282</b> (4.5%)	<b>2,980</b> (5.9%)	<b>2,095</b> (4.2%)	<b>2,200</b> (4.2%)
<b>当期純利益</b>	<b>581</b>	<b>361</b>	<b>121</b>	<b>2,222</b>	<b>518</b>	<b>1,200</b>



# 株価の推移

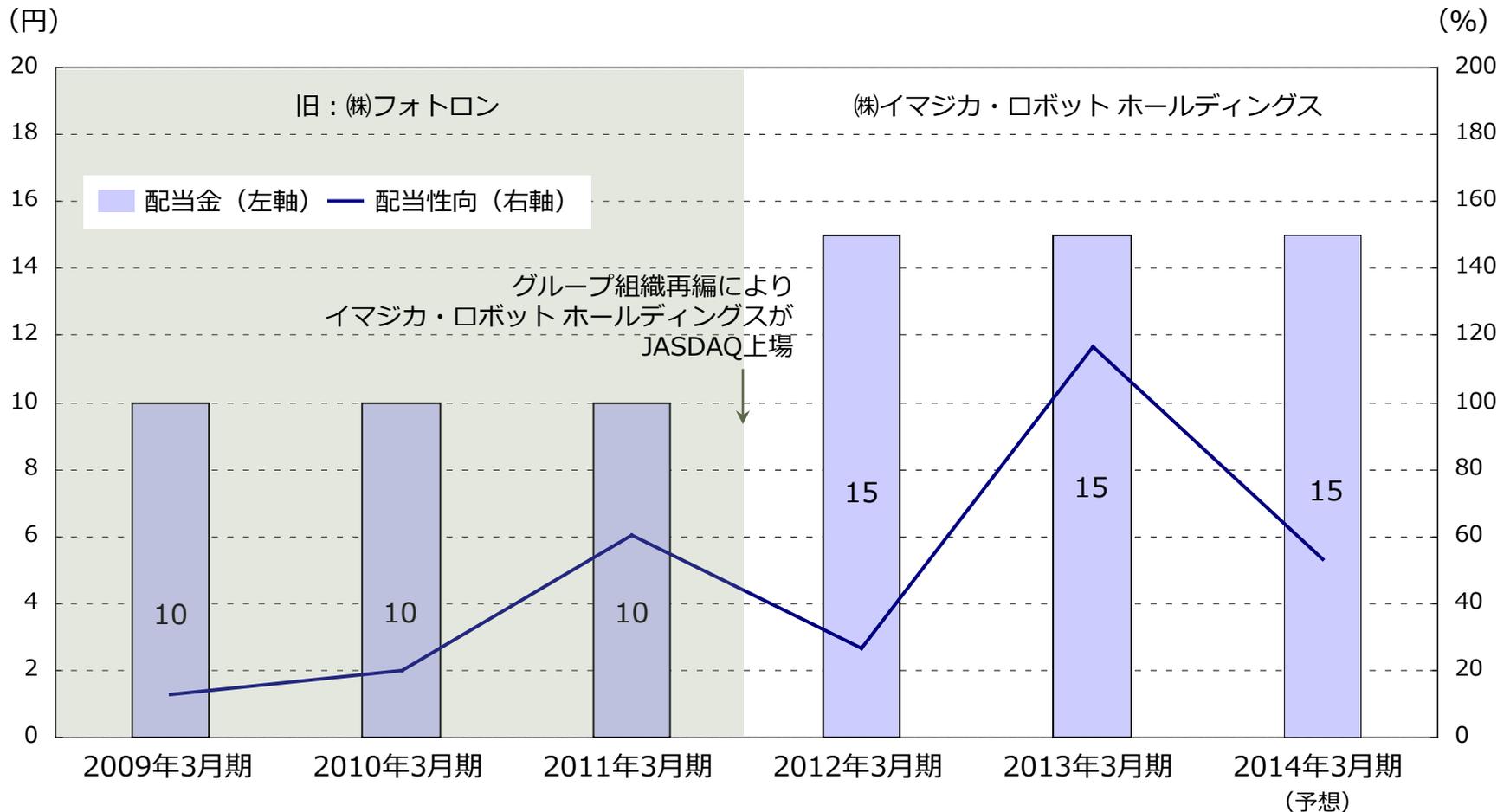
証券コード6879：(株)イマジカ・ロボットホールディングス（旧：(株)フォトロン）

※2008年10月～2013年9月



# 配当金の推移

財務体質の強化および内部留保の充実を勘案した上で、安定配当を実施



# 事業セグメントのご紹介



## 事業セグメントのご紹介①

# 映像技術サービス事業

	2013年3月期実績	(前年差異)	2014年3月期計画
売上高	170億80百万円	(△15.5%)	174億円
営業利益	18億45百万円	(△40.8%)	18億50百万円



# 映像技術サービス事業

## 事業内容

- ・映画フィルムの現像、プリント、合成加工
- ・テレビ番組、テレビCMの編集・加工
- ・各種映像技術サービス（VFX・CGI、3D・DVD／BDパッケージ化、等）

## 撮影



## 制作



## 上映／流通



# 民放バラエティー番組に強み

## 民放バラエティー番組でシェアNo.1、テレビ局別に対応する設備・人材



赤坂ビデオセンター



麻布十番スタジオ



渋谷スタジオ



銀座7丁目スタジオ



東京映像センター (五反田)



湾岸スタジオ



IMAGICAウエスト

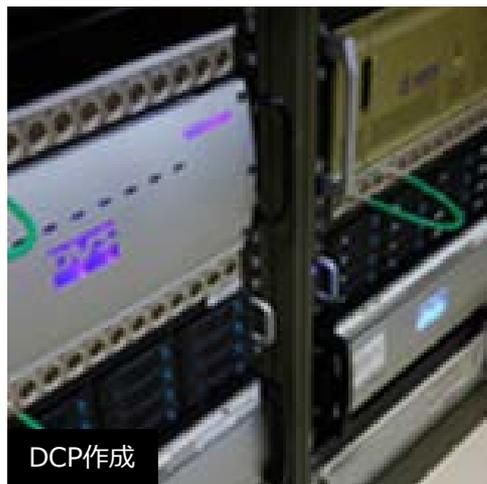


品川プロダクションセンター



## 「DCP（デジタルシネマパッケージ）」サービスでシェア拡大

- ・ 独自のセキュリティ管理機能
- ・ 配給・興行業務を支え続ける信頼と安心のサポートサービス

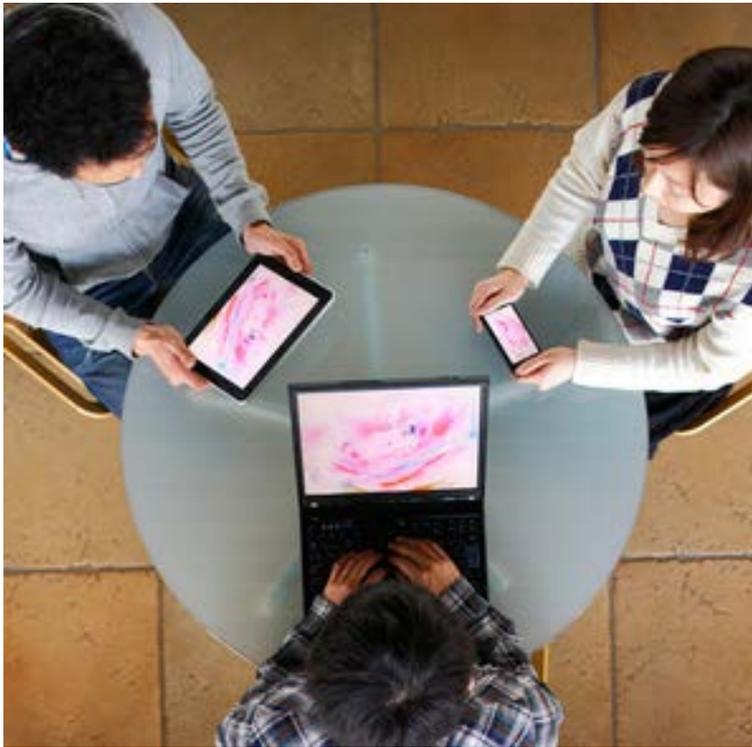


# コンテンツ流通・配信サポート



## スマートフォンやタブレット端末など、様々な視聴環境に対応

- ・ワンコンテンツ・マルチユース
- ・コンテンツお預かり、データ管理、ファイル形式変換、高品質



ファイル変換



配信サポート



# 4K映像制作への取り組み

## 撮影からパッケージングに至るまで4K映像制作をサポート

- ・ 2014年に4Kの実用化試験放送実施予定
- ・ 4K対応サービスをいち早く取り揃え、4K映像制作をサポート



Def Tech「Marathon」のMusic Videoを4Kで制作



## 事業セグメントのご紹介②

# 映像ソフト事業

	2013年3月期実績	(前年差異)	2014年3月期計画
売上高	131億17百万円	(+7.8%)	137億円
営業利益	5億20百万円	(+110.5%)	6億円



# 映像ソフト事業

事業内容

- ・ 映画、テレビ番組、テレビCM、アニメ、等の企画制作
- ・ ミュージックビデオ等の音楽映像制作
- ・ 各種映像コンテンツのライセンスビジネス

## 過去の代表作品（ロボット制作・出資）

【興行収入33.7億円】

【興行収入73.3億円】

【興行収入59.7億円】

(作品画像)

(作品画像)

(作品画像)

※著作権等の都合上、画像を掲載しておりません。

©2012 「ALWAYS三丁目の夕日'64」 製作委員会

©2012 フジテレビジョン、ROBOT、ポニーキャニオン、東宝、小学館、エー・チーム、FNS27社

「踊る大捜査線 THE FINAL 新たなる希望」  
©2012 フジテレビジョン アイ・エヌ・ピー



# 今期公開予定の映画作品①

## ロボット制作・出資作品

(作品画像)

「ジックス!!!」  
2013年11月16日(土) 公開予定

※著作権等の都合上、画像を掲載しておりません。

「永遠の0」2013年12月21日(土) 公開予定  
©2013「永遠の0」製作委員会

(作品画像)



# 今期公開予定の映画作品②

中核会社

**ROBOT** P.I.C.S.

## ロボット制作・出資作品

(作品画像)

※著作権等の都合上、画像を掲載しておりません。

「カノジョは嘘を愛しすぎてる」 2013年12月14日（土）公開予定  
©青木琴美・小学館／「カノジョは嘘を愛しすぎてる」製作委員会

(作品画像)

「百瀬、こっちを向いて。」 2014年春公開予定

## ピクス制作・出資作品

(作品画像)

「劇場版 タイムスクープハンター」  
2013年8月31日（土）より公開中



# 3Dプロジェクションマッピング映像

P.I.C.S.

## 話題の3Dプロジェクションマッピング映像を多数制作

(作品画像)

(作品画像)

(作品画像)

※著作権等の都合上、画像を掲載しておりません。

東京駅復元完成イベント  
©NHKエンタープライズ  
【2012/12/25 DVD発売】

SUBARUフォレスター新車発表会

会津鶴ヶ城さくらプロジェクト【2013/11 DVD発売予定】

(作品画像)

(作品画像)

東京ミッドタウン NHKスペシャル特別企画

横浜ランドマークタワー開業20周年記念 横浜ドックヤードガーデン



## アニメ、CM、ドラマ作品等、多数受賞

※著作権等の都合上、  
画像を掲載しておりません。

(作品画像)

## 短編アニメ「つみきのいえ」 ©2008 ROBOT

- ・米国アカデミー賞 短編アニメ賞
- ・アヌシー国際アニメーション映画祭 アヌシー・クリスタル賞、こども審査員賞
- ・第12回広島国際アニメーションフェスティバル ヒロシマ賞、観客賞
- ・第12回文化庁メディア芸術祭アニメーション部門大賞

(作品画像)

(作品画像)

## 企業CM「OTONA TSUTAYA」

- ・第49回ギャラクシー賞 CM部門選奨 広告電通賞  
生活文化部門賞最優秀賞
- ・アジア広告際SPIKES ASIA 2012 フィルム部門シルバー賞
- ・第52回消費者の為に成った広告コンクール銅賞

(作品画像)

## 企業CM「七福タオル」

- ・アジア広告際「SPIKES ASIA 2012」  
フィルムクラフト部門ブロンズ賞
- ・第52回消費者の為に成った広告コンクール銅賞

## テレビドラマ「鈴木先生」

©2013映画「鈴木先生」製作委員会

- ・日本民間放送連盟賞 テレビドラマ番組部門最優秀賞
- ・第49回 ギャラクシー賞 テレビ部門優秀賞
- ・第38回 放送文化基金賞 番組部門・テレビドラマ番組賞

(作品画像)

## ARイベント「BACARDI AR HAPPY HALLOWEEN」

- ・東京インタラクティブ・アド・アワード アウトドア部門 BRONZE
- ・デジタルサイネージアワード2012 GOLD
- ・広告電通賞 その他のオンラインコミュニケーション部門 最優秀賞

(作品画像)

(作品画像)

3Dプロジェクションマッピング 六本木ヒルズ10周年  
~LOVE TOKYO~ 「TOKYO CITY SYMPHONY」

- ・第60回カンヌライオンズ国際クリエイティビティ・フェスティバル  
サイバー部門 (CYBER LIONS) シルバー賞

## 「THE HIGHEST GOAL」

## キャンペーン

- ・第60回カンヌライオンズ国際クリエイティビティ・  
フェスティバル メディア部門シルバー賞



## 事業セグメントのご紹介③

# 放送事業

	2013年3月期実績	(前年差異)	2014年3月期計画
売上高	51億30百万円	(+9.8%)	53億円
営業損失	4億22百万円	(△3億62百万円)	2億50百万円



# 放送事業

事業内容

- ・衛星放送、CATV、ホテルペイテレビ等の番組の放送、コンテンツ供給
- ・映像コンテンツの企画・制作・編成

## CSデジタル放送開始時（1996年）から、有料専門チャンネルを運営

<p>チャンネル</p>	<p>イマジカBS 2012年3月1日開局</p> <p>名画を、いつもまぢかに</p> <p><b>イマジカBS</b></p>  <p>(旧：洋画★シネフィル・イマジカ)</p>	<p>歌謡ポップスチャンネル</p>  <p>歌謡ポップス チャンネル</p>	<p>食と旅のフーディーズTV</p>  <p>(2013年12月よりロゴ変更予定)</p> <p><b>FOODIES</b></p>
<p>世帯数</p>	<p>視聴可能世帯数（2013/6時点） <b>約463万世帯</b></p>	<p>視聴可能世帯数（2013/6時点） <b>約568万世帯</b></p>	<p>視聴可能世帯数（2013/6時点） <b>約206万世帯</b></p>
<p>特長</p>	<p>名画・名作系映画専門CH 幅広い年齢層の映画ファン</p>	<p>唯一の演歌・歌謡曲専門CH 40歳以上をターゲット</p>	<p>国内唯一の食専門CH 主婦やファミリーに人気</p>

※視聴可能世帯数とは、スカパー！、CATV等と契約し、当該チャンネルの視聴が可能な世帯の数



# 「イマジカBS」

IMAGICA TV

ハリウッド大作、永遠の名画、世界の映画祭受賞作品、日本初放送作品など

名画を、いつもまぢかに

## イマジカBS

視聴可能世帯数

約463万世帯

(2013/6時点)

イマジカBSイチオシの超話題作

### 「ハウス・オブ・カード 野望の階段」

【ネットドラマ史上初】

米テレビ最高の栄誉とされる  
エミー賞で9部門にノミネート、  
監督賞、キャスティング賞、  
撮影賞の3部門を受賞  
＜10月放送スタート＞

～イマジカBSとNOTTVで日本独占初放送～



# 「歌謡ポップスチャンネル」

IMAGICA TV

40歳以上をターゲットにした、日本唯一の歌謡曲専門チャンネル  
オリジナル番組も多数放送



歌謡ポップス  
チャンネル

視聴可能世帯数  
約568万世帯  
(2013/6時点)

演歌、70～80年代のアイドル、フォーク、ニューミュージックの名曲をお届けします。



# 「食と旅のフーディーズTV」

IMAGICA TV

レシピのソーシャルブログサービス「タベラッテ」との事業統合により、  
国内唯一の放送とインターネット融合型 “食” 総合コンテンツ・メディア誕生

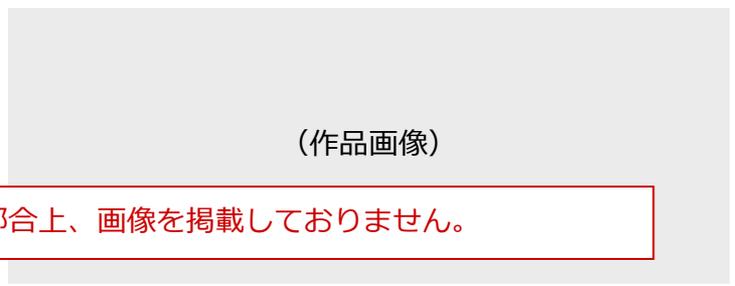


視聴可能世帯数  
**約206万世帯**  
(2013/6時点)

+



レシピのブログサイト  
「タベラッテ」



2013年12月より、「食と旅のフーディーズTV」と「タベラッテ」が統合し、新「FOODIES」が誕生します。



## 事業セグメントのご紹介④

# 映像システム事業

	2013年3月期実績	(前年差異)	2014年3月期計画
売上高	93億53百万円	(+9.1%)	96億円
営業利益	9億06百万円	(+43.4%)	9億50百万円



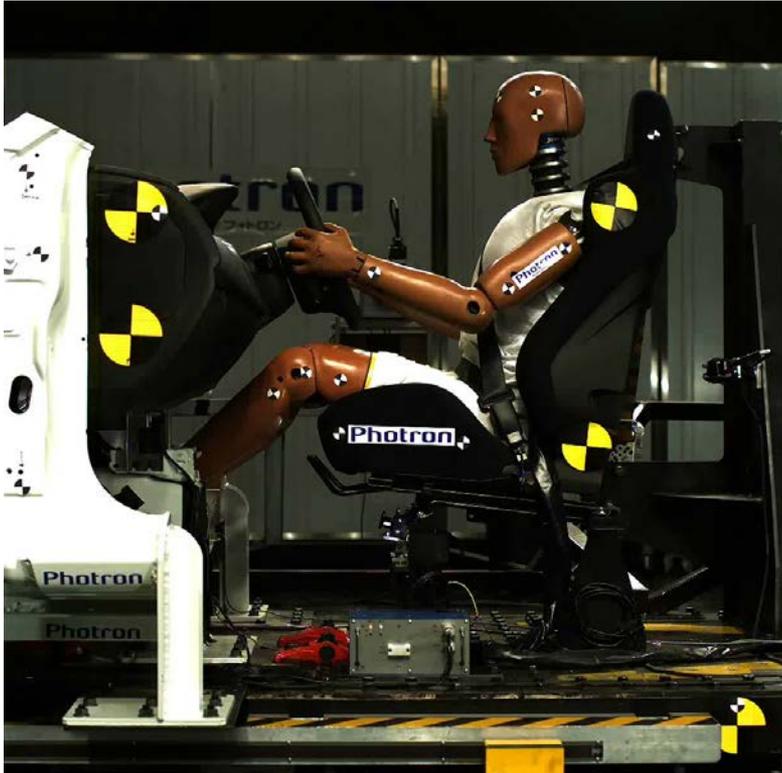
# 映像システム事業

事業内容

- ・ 高速度ビデオカメラ等の開発・製造・販売
- ・ 放送用映像機器の開発・製造・販売

## 放送・映像分野から学術分野、メディカル分野、官公庁と幅広く展開

ハイスピードカメラ（自動車衝突実験）



FASTCAM MH4 自動車衝突安全試験用

- ✓世界初、高速2次元光学位相差ムラ計測技術を開発  
「KAMAKIRI（仮称）」発売予定



【世界初】生産ライン向け高速位相差マッピングシステム  
「KAMAKIRI（仮称）」発売予定



## 事業セグメントのご紹介⑤

# 人材コンサルティング事業

	2013年3月期実績	(前年差異)	2014年3月期計画
売上高	87億77百万円	(+0.3%)	113億円
営業利益	2億94百万円	(+69.6%)	3億円



# 人材コンサルティング事業

事業内容

- ・ 人材派遣、人材紹介の人材コンサルティングサービス
- ・ WEB、GAME・CG等の制作受託サービス

## デジタルクリエイターとITエンジニアに特化

2013年4月1日付で連結子会社化

クラウドソーシングサービス開始



日本テレビのグループ企業、日テレ・テクニカルリソース（愛称：ニトロ）が20%出資



(作品画像)

(作品画像)

(作品画像)

(作品画像)

※著作権等の都合上、画像を掲載しておりません。

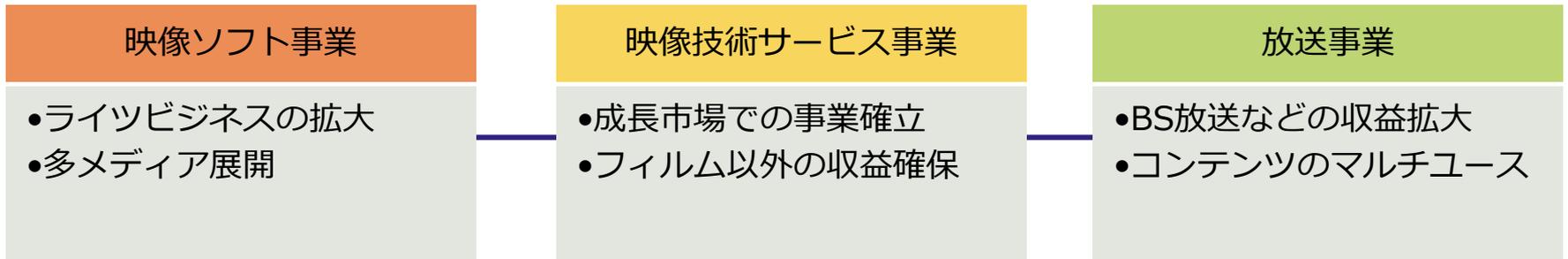
(株)セガ 「龍が如く5 夢、叶えし者」  
(株)CAPCOM 「ドラゴンズドグマ」

(株)コーエーテクモゲームス「NINJA GAIDEN 3」  
(株)コナミデジタルエンタテインメント「WORLD SOCCER WinningEleven 2013」

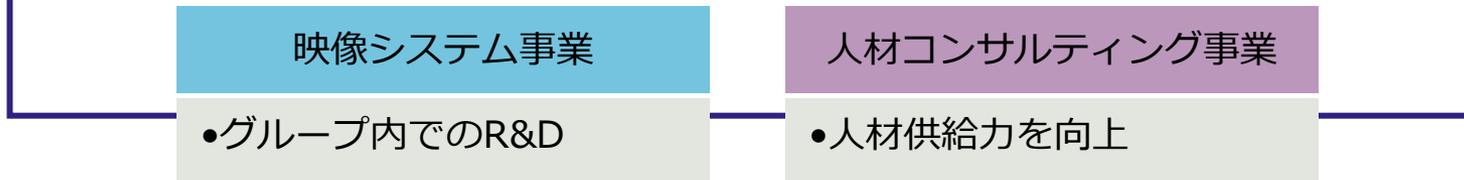


# 各セグメントのミッションとグループ連携

グループ一体化経営を促進し、  
よりバランスの取れた一貫性のあるバリューチェーンに



効率的で堅固なグループ経営体制の構築



グループ総合力

グループシナジーの追求

事業領域の拡大



# グループ経営理念

## MAGIC FACTORY

**Image Magic Creative Magic Technology Magic Communication Magic**

イマジカ・ロボットグループは、誠実な精神をもって、  
映像コミュニケーションにおける新たな価値創造につとめ、  
人々に楽しい驚きを与える“魔法の工場”をめざします。



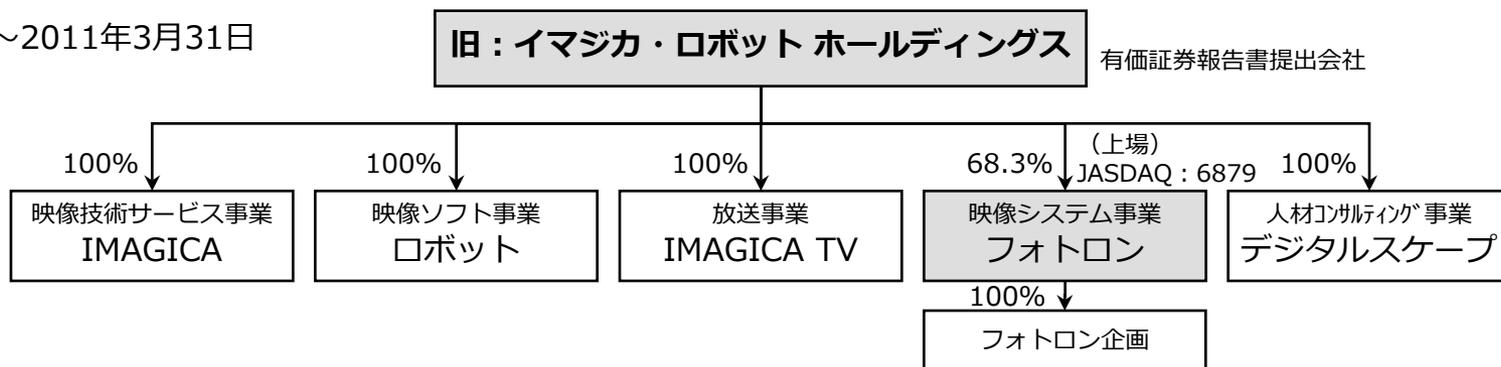
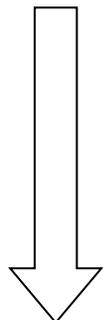


# 參考資料



# 2011年4月1日 グループ組織再編

<旧：体制> ~2011年3月31日



<現：体制> 2011年4月1日～



旧フォトロンを100%子会社化

- ・人材活用、資金調達の効率化
- ・グループ内協業による事業拡大

新：イマジカ・ロボットホールディングス上場

- ・旧：フォトロンの少数株主の保護
- ・親子上場の課題解消
- ・資金調達の強化、管理コストの削減



# 用語解説 (1)

<b>プロダクション</b>	実際の映像制作。撮影をメインに、作品に係るCG（コンピュータ・グラフィクス）の作成や音楽、効果音づくりを行う段階のこと。
<b>ポストプロダクション (ポストプロ)</b>	撮影素材を作品の流れに沿って編集を行う、色調を調整する、CGとの合成や音声と合わせるなど、映像の制作工程で撮影終了時点から作品完成までの処理工程のこと。また専門にこれらを扱う部門や会社の総称。
<b>VFX</b>	Visual Effects（ビジュアル・エフェクツ）の略で、特撮を用いた映画やテレビドラマにおいて、現実には見ることのできない画面効果を実現するための技術のこと。視覚効果（しかくこうか）ともいう。 撮影現場での効果をSFX（Special Effects, 特殊効果）と呼ぶのに対し、撮影後のポストプロダクション段階に付け加えられる効果をVFXと呼ぶ。
<b>CGI制作</b>	CGI（computer generated image）はコンピュータで生成・加工された画像の総称で、CGより意味が広い。CGI制作は、3次元コンピュータ・グラフィクスを描くだけに限らず実写画像データをフォト・レタッチなどで加工したり、3次元コンピュータ・グラフィクスと実写画像を合成し、新たな画像を生成すること。
<b>テロップ</b>	テレビカメラを通さず、映像に字幕やロゴマークなどを重ねる映像効果。バラエティ番組で面白いコメントを文字にしたり、音楽番組に歌詞を表示することができる。
<b>デジタル上映</b>	従来のフィルム映写とは異なる、映像や音声デジタルデータ化された上映方式のこと。映画作品の映像・音声等全ての情報を物理メディア(HDDなど)に格納し、それを再生することで上映する。
<b>4K映像</b>	画素数がフルハイビジョンの4倍ある高画質映像のこと。その圧倒的な高精細な映像は、臨場感・没入感をさらに高め、映像表現の幅が広がる。
<b>ライセンスビジネス</b>	著作物を利用したビジネスのこと。



## 用語解説 (2)

<b>興行収入</b>	観客が映画館に支払う入場料の合計金額のこと。以前は映画の成績に、興行収入から劇場収入等を差し引いた配給収入が使われていたが、2000年以降は海外に合せて興行収入が使われるようになった。
<b>3Dプロジェクションマッピング</b>	建物などの凹凸を3Dデータ化しておき、その表面に立体的な映像をプロジェクターで映写する技術のこと。
<b>ディレクター (監督)</b>	制作現場を統括する責任者。企画、台本、出演者などを選び、演出、音響、照明、演技指導など、作品全ての責任を持つ。想像力や芸術的なセンスの他、統率力や判断力、長時間にわたるハードワークに耐える体力と気力も必要不可欠。
<b>プロデューサー</b>	映画やテレビ番組を企画、立案し、作品にする総合責任者。
<b>ハイスピードカメラ</b>	高速現象を撮影することを目的としたカメラ。ハイスピードカメラで撮影した映像を通常の速さで再生すると、スローモーションとして見ることができる。高速度ビデオカメラともいう。
<b>位相差</b>	物理学で、振動や波動などの周期運動の過程でどの点にあるかを示す変数。例えば、物体に負荷をかけると物体の屈折率にムラができ、光を通す速度が変化するが、負荷のない部分と負荷のかかった部分で光が通過する時間差を、光学位相差と呼ぶ。
<b>クラウドソーシング</b>	WEBサイトを通じて、業務を委託するビジネスのこと。時間や場所に関わらず、全国の登録者のうち最適なワーカーに仕事を依頼することができ、時間と費用の削減効果もある。



# お問い合わせ先

株式会社イマジカ・ロボット ホールディングス

経営企画本部 総務部

〒100-0011 東京都千代田区内幸町1-3-2 内幸町東急ビル11階

T E L : 03-6741-5750      F A X : 03-6741-5751

Email : [ir@imagicarobot.jp](mailto:ir@imagicarobot.jp)

URL : <http://www.imagicarobot.jp/>

## 【将来予測について】

本資料に記載されている当期ならびに将来の業績に関する予想、計画、見通し等は、現在入手可能な情報に基づき算定しており、判断や仮定に内在する不確実性および今後の事業運営や内外の状況変化等による変動可能性に照らし、実際の業績等が見通しの数値と異なる結果となり得ることをご承知おきください。

